

令和8年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立広南中学校
(広南中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+ 5. 0	+ 5. 0
令和8年度	+ 7. 1	+12. 0
令和7年度	+16. 7	+ 8. 7
令和6年度	－ 0. 1	+ 0. 5
令和5年度	+13. 2	+ 3. 0
令和4年度	+ 3. 0	－ 1. 4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

●●● 全国平均 ■ 県平均 ✕ 本校 国語 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 読むこと 書くこと 話すこと・聞くこと 本校 71.0% 全国 63.9% 県 64.0%	重点課題	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするに課題がある。擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くことはできているが、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くことに課題がある。(設問4四)【読むこと】(平均正答率35.3%) ◇文章中の言葉や表現に着目し、その意味や効果を捉えることに課題がある。さらに、中学校においては、叙述を根拠として自分の考えを形成し、適切に表現することに課題がある。【読むこと】
	改善の方策	◎「本文の内容を理解する」だけで終わらず、本文を根拠にして、自分の考えを見直したり深めたりする学習活動を設定する。 ◇文章中の言葉や表現に着目し、その意味や読み手に与える効果について考え、表現の工夫への気付きを深める学習活動を設定する。さらに、中学校においては、叙述と自分の考えとのつながりを明確にし、適切に表現するために、三角ロジック等を活用し、根拠を基に自分の考えを形成・表現する活動を継続的に取り入れる。
	検証	◎全国学力の類似問題 (設問4四) (第2～3学年, 2月) 目標75% ◇全国学力 (R7設問3一) (第2～3学年, 2月) 目標80%
●●● 全国平均 ■ 県平均 ✕ 本校 数学 数と式 図形 関数 データの活用 本校 69.0% 全国 57.0% 県 57.0%	重点課題	◎具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見出し、数学的に表現することに課題がある。(設問8(3))【図形】(平均正答率41.2%) ◇「同類項」や「体積」などの数学の用語の意味(定義)を理解し、その定義をもとに、適切に計算したり表現したりすることに課題がある。【数と式・図形】
	改善の方策	◎数量の関係に関わる学習活動を通して、具体的な事象を基に法則性を見つけ、数式などで表現する力を付ける。 ◇既習事項の定義を再確認するとともに、具体的な操作や活動を通して数学の用語や図形等の意味(定義)を理解する学習活動を取り入れる。
	検証	◎全国学力(設問8(3))の類似問題 (第2～3学年, 2月) 目標65% ◇全国学力(設問2)の類似問題 (第2～3学年, 2月) 目標80%

【来年度に向けて】